

報道関係者各位

2004年10月13日

日本ノーベル株式会社
アドバンスト・クオリティ事業部

Quality Commander (クオリティ コマンダー) が経済産業省より 平成16年度情報化促進貢献情報処理システム表彰 情報化月間推進会議議長表彰を受賞しました

日本ノーベル株式会社（東京都北区、代表取締役社長：毛塚 幹雄）が開発した組込みシステムのテスト自動化を実現する「Quality Commander」が、平成16年度「情報化月間」において「情報化促進貢献情報処理システム表彰」、「情報化月間推進会議議長表彰」を受賞しました。

記念式典ならびに表彰式は、10月1日午後4時30分より東京全日空ホテルで執り行われ、その模様は下記のホームページにて公開されております。

平成16年度「情報化月間」(<http://www.jipdec.jp/gekkan2004/>)

「Quality Commander」は、独立行政法人情報処理推進機構（以下IPA）の平成15年度「重点領域情報技術開発事業」に採択された「組込みソフトウェア自動検査システム」の開発成果です。このたびのIPA様よりのご推薦を受け、本賞の受賞となりました。

表彰理由：

携帯電話等の長時間に渡る物理的に押下する連続テストの実施、長時間の自動テストによる効率的なテストカバレッジ向上に寄与できる自動検査システムである。

これまででは手動で行わなければいけなかったテストを自動化することで、試験効率を上げ、品質向上にも大きく期待できる。

従来、組込みシステムのヒューマン・マシン・インターフェース（以後 HMI）系テストではキーボタン押下や画面遷移、音の変化の検査は人手に頼らざるを得ませんでした。

「Quality Commander」は人の目に代わる CCD カメラ、手に代わるマニピュレータ、耳に代わるマイク、口に代わるスピーカ、頭脳に代わるコンピュータを駆使し、マニピュレータが組込みシステムのキーボタンを押下した結果、得られた画面や音をコンピュータ処理により自動で合否判定を行います。

これら操作はテストシナリオ化することができ、組込みシステムの HMI 系テストの自動化を実現します。

当社は 5 年間前より「携帯電話自動評価システム」を携帯電話メーカー向けに販売し、好評を博していました。そこで得たノウハウをもとに新たに「Quality Commander」を開発いたしました。「Quality Commander」では、前身の「携帯電話自動評価システム」から、さらに強化されたテストシナリオ構文を採用し、高性能画像処理技術の導入、マニピュレータとして XY ロボット、垂直多関節ロボット（6 軸ロボット）を採用したことにより PDA、カーオーディオ、カーナビ、デジタル家電等にも適応可能となりました。

「Quality Commander」は平成 16 年 7 月 1 日より販売を開始しています。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

日本ノーベル株式会社(<http://www.jnovel.co.jp>)

アドバンスト・クオリティ事業部 営業担当 杉山、増田

〒114-002 東京都北区王子 2 - 3 0 2

TEL : 03 - 3927 - 8801

FAX : 03 - 3927 - 8895

E-mail : sales@jnovel.co.jp

「Quality Commander」の詳細情報は下記のホームページにてご参照いただけます。

<http://www.a-qual.com>

情報化月間とは：

経済産業省をはじめとする関係 6 府省（内閣府、総務省、財務省、文部科学省、国土交通省）が毎年 10 月を情報化月間と定め、情報化に関する普及・啓発を重点的に行っているものです。

毎年 10 月に開催される「情報化月間記念式典」において、情報化の促進に多大な貢献をなしたと認められる「個人」、「企業等」、「情報処理システム」を選定し、表彰をしています。この表彰制度は、国民の情報化に対する認識を高めて頂くとともに、国民生活の向上および国民経済の健全な発展に寄与することを目的としています。